



2011 ~ 2012 年度
R I テーマ

Reach Within to Embrace Humanity
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー (国籍・インド)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12 時 30 分
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0801 別府市北浜1-14-15
TEL (0977) 22-1100 FAX 21-1019
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事 亀井 孝	理事 近藤 賢司	役員 会 長 亀井 孝	S A A 木村きぬゑ
〳 高宮 勝美	〳 平野 英壽	副会長 高宮 勝美	直前会長 木村きぬゑ
〳 森 宗明	〳 津末美代子	幹 事 森園 伸也	
〳 村津 忠久		会 計 河村 貴雄	

VOL. 24 - 8
2011 年 8 月 23 日

第 1062 回 例 会

会報委員長 大島由美子

- ◆点 鐘 12 : 30
- ◆体 操 自律神経強化体操
- ◆R S 四つのテスト
- ◆唱 歌 手の平を太陽に
- ◆B. G. M 「宗次郎こころのうた」より
エーデルワイス
グリーン・スリーブス
イエスタデイ 他
- ◆ゲ ス ト 本田 光曠 氏
(国際ロータリー第2720地区ガバナー)
安藤 康夫 氏
(国際ロータリー第2720地区大分第3分区ガバナー補佐)
ゲン・ティ・ツイ・ユンさん
(米山奨学生)
- ◆ビジター 都築 員守 (竹田 R C)

◆出席報告 出席委員長 衛藤 秀子

本 日 の 出 席	会 員 総 数	25 名
	出 席 者	19 名
	事前メイクアップ	2 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
出 席	欠 席 数	3 名
	出 席 率	79.17 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	66.67 %
	事後メイクアップ	4 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
	修 正 出 席 率	87.50 %
8/9	連 続	- 回
	通 算	743 回 100 %

会長の時間

会長 亀井 孝

本日は国際ロータリー第2720地区本田光曠ガバナーと、第2720地区大分第3分区の安藤康夫ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問例会です。

会員の皆さんと共に、色々勉強させて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

「真っ当に生きるしあわせ」

みなみらんぼう

映画『男はつらいよ』の第何作だか忘れたが、寅さんの妹さくらの一人息子満男が、後藤久美子扮するマドンナに振られる。大学受験にも失敗した満男は、ダブルショックで大いに落ち込む。そ

・メイクアップ

事前 岐部、衛藤 (別府東)
事後 森 (日出)
梶原、木村、堀 (別府東)
欠席 堀、栴田、中尾
出席免除 溝部

んな折に寅さんと江戸川縁を歩きながら、こう訊ねる。

「伯父さん、人間どうして生きなくちゃならないんだ」と。

寅さんはいつもの明るい調子で、「バカだなお前、大学入ろうとする人間がそんなことも分からないのか？」とまずくさしてから、「今まで生きていて良かったと思ったことがある



だろう。そんなときのために生きるんだよ」と答える。

僕はこの台詞にゾクッと来た。また来るかもしれない“生きていて良かった”という日のために生きる・・・。うーん、この生きていて良かったという言葉をしあわせと置き換えてもピッタリ合う。そう僕達はいつだっていつか来る「しあわせ」に向かって歩いている。

ところで僕も今年で六十二歳になろうとしている。昔も今もしあわせはしあわせで、同じものと考えているのだが、とりまく状況はすっかり変わった。第一に還暦を過ぎてみんな元気である。近所のAさんは拍子木を買ってきて「いい音でしょう、大相撲みたいだ」と悦に入っていた。「どうするの?」と聞いたら「最近この辺も物騒になったから、毎日数回町内を見回りするんだ」という。「拍子木があると怪しまれないでしょ」と笑っていたが、何ヶ月も続けていると「回る時間が遅れたりすると門の前に出て、待ってくれるおばあさんがいたりするんだ」と嬉しそうだった。そのうちファンクラブができるかも知れない。

僕らの世代は、ずっと欲しい物が手に入るとしあわせになれると思って来た。掃除機や洗濯機、クーラーなどは3Cとか三種の神器と呼ばれたこともある。これらが手に入ればしあわせな家庭生活が営めると言われた。幻想だった。テレビやビデオ、車やケータイと、物があふれ、いまや、“もうすぐTV電話”と夢を語るけれど、夢がモノであるうちは、しあわせは夢物語だろう。

僕らは短い期間で大金持ちになったり、名声を得たりした人を幾人も知っている。そうした人を見ると、成功に釣り合いがとれるほどしあわせかと言うと、そうでないことも実は知っている。拍子木を叩いて、町内の安寧を守るほうが、億万長者よりしあわせだと言うのは皮肉でも何でもない。本当なのだ。

だから僕は真っ当に生きる。しあわせの方向が分からなくなったら寅さんに聞けばよい。



幹事報告

幹事 森園 伸也

一会員増強および拡大月間一

…本日は「本田光曠ガバナー公式訪問例会」を開催致します。…

12:30~13:30 第1062回例会
13:30~14:30 ガバナーとの懇談会

1. 本日の卓話

「ガバナーアドレス」

国際ロータリー第2720地区ガバナー

本田 光曠 氏

2. 本日のゲスト

本田 光曠 氏 (国際ロータリー第2720地区ガバナー)

安藤 康夫 氏 (国際ロータリー第2720地区大分第3分区ガバナー補佐)

グエン・ティ・ツイ・ユンさん (米山奨学生)

3. RI第2720地区2011-2012年度職業奉仕セミナー開催のお知らせ

日 時 平成23年9月18日 (日曜日)

13:00~16:00

場 所 くまもと県民交流館パレア10階・パレアホール

参加者 ガバナー、ガバナー補佐、地区奉仕プロジェクト部門長、地区職業奉仕委員会委員、クラブ会長、クラブ職業奉仕委員長

*諸事情により通常10月開催のところ前倒した日程となっています。

関係会員のご参加をお願い致します。

4. 8月19日(金)16:00~トキハ会館4F「つばきの間」に於いて、「ブライダル推進委員会活動計画説明会」が開催され、村津忠久ブライダル推進委員長が出席致しました。

5. 本日、11:30~ホテルニューツルタ2F「風月」に於いて「ガバナーとの会長・幹事懇談会」を開催致しました。

出席者: 亀井 孝会長、高宮勝美副会長、森園伸也幹事、前田哲矢副幹事

6. 委員会報告

○ロータリー探究: No.442「ロータリー情報の失墜を憂う」鳴海淳郎R情報委員長

○「ブライダル推進委員会活動計画説明会報告」村津忠久ブライダル推進委員長

7. お祝い

配偶者誕生日 高宮貴子さん (8月23日)

※記念品をお渡し致します。



8. 例会変更のお知らせ

- 大分東RC 9月1日(木)の例会は、職場訪問例会の為 同日12:00~大分市美術館に時間・場所変更
- 湯布院RC 9月7日(水)の例会は、宇城RCとの合同親睦例会の為 9月2日(金)17:00~に日時変更
- 大分東RC 9月8日(木)の例会は、野外家族例会の為 9月11日(日)に日時・場所変更
- 大分RC 9月13日(木)の例会は夜間例会の為 同日18:30~大分全日空ホテルオアシスタワーに時間・場所変更
- 中津中央RC 9月13日(火)の例会は、観月例会の為 同日18:30~風の森に時間・場所変更
- 大分城西RC 9月14日(水)の例会は職場訪問例会の為 同日12:00~大分市美術館に時間・場所変更
- 中津平成RC 9月15日(木)の例会は、観月例会の為 同日19:00~森の風に時間・場所変更
- 大分南RC 9月16日(金)の例会は職場訪問例会の為 同日12:30~エディスパソコン学園に場所変更

9. 次週の予定(8月30日)

「定款第6条第1節(C)に基づき休会」

10. 次々週の予定(9月6日)

「新会員卓話」

梶原和朗会員・佐々木久宜会員・大江知巳会員

11. 本日の回覧

①「月見例会」出・欠席(9月20日)

12. 本日の配布

①週報No.1061

②ガバナー月信No.2

スマイルボックス 副委員長 平野 教康

○本田光曠ガバナー

○安藤康夫ガバナー補佐

○亀井会長

本日は、本田ガバナー・安藤ガバナー補佐、ようこそ別府中央RCへ。よろしくご指導お願いします。

○高宮会員

本日、例会前に本田ガバナーよりロータリーについて、又、ロータリアンについて勉強しました。来年会長に就任出来れば十二分に生きて来ると思いました。ありがとうございました。

○森園会員

本田ガバナー、安藤ガバナー補佐、ようこそ。本日は、よろしくお願いします。

○鳴海会員

本日はガバナーの公式訪問例会、本田ガバナー並びに安藤ガバナー補佐のご出席を賜り、心から感謝致します。

ガバナーに敬意を表して久しぶりにロータリーの礼装をしてきましたが、色々なことが思い出されます。

これを記念に大いにスマイルしたいと思います。

○村津会員

本日は一年一度の公式訪問例会です。

本田ガバナー、安藤ガバナー補佐の御来訪に敬意を表してスマイル致します。

○梅津会員

国際ロータリー第2720地区ガバナー本田光曠様、安藤康夫ガバナー補佐様、グエン・ティ・ツイ・ユンさん、竹田ロータリーの都築様、ようこそ当クラブにおいでくださいました。今日一日よろしくお願ひいたします。

○溝部会員

本田ガバナーへ。公式訪問に欠席し、申し訳ありません。本年介護福祉養成施設協会の九州の代表者となり、本日東京で理事会があります。大変重要な会議で会長以上幹部に現行制度維持の努力をしてほしいお願ひをするつもりです。メールまでいただいて申し訳ありません。

○木村会員

本田光曠ガバナー、安藤康夫ガバナー補佐、本日はよろしくご指導ください。

ガバナーお迎えの時、新聞等見ていて大変失礼致しました。朝日新聞に我が家の冷麺の事が





大きく出ていましたので、つい見ていました。あとでゆっくり見たらいいのにね。すみませんでした。

○河村会員

本日は本田ガバナー、安藤ガバナー補佐の公式訪問、誠に有り難うございます。ガバナー、アドレスを楽しみにしています。

○近藤会員

気温37～38度の猛暑の季節がやってきました。その暑さを吹き飛ばすような勢いのAKB48というグループがブレイクしていますが、我々おやじはAKB38です。暑くてきつくてバテたよ38度…。

つまらんおやじギャグでスンマセン。

○平野(英)会員

本田光曠ガバナーようこそ別府中央RCへ。熊本での地区協議会ではすばらしいアドレスありがとうございました。今日明日とよろしく。

○森会員

本田ガバナー、安藤ガバナー補佐、ようこそ別府中央ロータリークラブへ。

○後藤会員

本田光曠ガバナーの初来会に感謝してスマイル。

○大島会員

本田ガバナー、安藤ガバナー補佐、ようこそおいで下さいました。本日はヨロシクお願いいたします。

○堀会員

いつも出席できずにごめんなさい。仕事が忙しいです。副委員長に面倒かけてごめんなさい。

○大江会員

私はロータリークラブに入って間がなく、会場に向かうエレベーターの中でガバナーって何ですか？と尋ねたら、「あんたバカやな～」と言われた！今日もひとつ勉強になりました。

○平野(教)会員

今日は遅れてごめんなさい。いつもニコニコスマイル。

社会奉仕委員会報告 委員長 村津 忠久

「ブライダル推進委員会に就いて」

4月17日の地区協議会の折に提案された「ブライダル推進委員会」が活動を始めました。

身近な方や御知りあいの方で適齢期の独身者が居られましたら、良き理解者として推薦人となり

御紹介をお願いします。

紹介の方法は

本日配布致しました「国際ロータリーブライダル委員会・登録カード」に所定の事項を本人が記載し、紹介ロータリアンの氏名記載欄に署名捺印して、配布別紙「2011～12年度・年間スケジュール表」に記された日時・会場に本人が持参、3000円の登録料を添え、ご本人が相談コーナーへ申し込まれるよう御願います。

10年前にスタートしたR.I.第2770地区では既に100組の成婚があったそうです。

卓 話

国際ロータリー第2720地区ガバナーアドレス 公式訪問にて

【ロータリーの現状と新年度R I テーマと地区運営方針】
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために・・・
心機一転

「ロータリアンになることはできるが、ロータリアンであることは難しい」

ガバナー 本田 光曠



本日はガバナー公式訪問にあたり私を温かくお迎え頂き、誠にありがとうございます。

ご紹介を頂きました、2011年12年度R I 第2720地区ガバナーを務めさせていただきます本田の光曠と申します。熊本城東RCの所属でございます。職業分類は神道・神社の宮司であります。ロータリー歴は23年。どうぞ一年間よろしくお願致します。

さて、今年は、地区大会前日に東日本大震災が起こり、R I 会長代理としてお越しになりましたのが被災地区、宮城県塩釜市の桑原茂ロータリーコーディネーターでした。

大会前日は被害詳細不明の中、木下直前ガバナーは、本大会を延期するのか、中止するのか、開催するのかと随分と悩まれたのではないのでしょうか。

しかし、地区最大の公式行事である地区大会を開催するというガバナー決断をされ、久しぶりに千数百名を超す多くの会員が登録をしての素晴らしい地区大会・交流会となりました。

その後は被災地区への復興支援を早急に進められ、救援物資を始めてとして多額の義援金を集めて送付されました。「ガバナーはガバナーをしながらガバナーになる。」これは、寿崎バストガバナーが当地区の向笠元R I 会長から伝えられた教えであります、まさに木下直前ガバナーはガバナーをしながら立派なガバナーになられた感が致します。

「私たちロータリアンは、子供たちが募金活動をしていたら、どこで何度も義援金を差し上げたとしても、知らん顔をするのではなく、積極的に『ごくろうさん、頑張れよ』とって募金をしてあげようではないですか」と話されました。

心の中にある人間の本质、心の有り様を見据えることがロータリーの本質だと感じた次第です。今後も被災地の復興を長期的にとらえ、未来に生きる子供たちを力強く支援して参りたいと思います。

また、地区の運営安定に関しましても、ガバナー・エレクト・ノミニエと常に三人が揃って地区の運営が出来ますように尽力して参りたいと思っています。

私もガバナーとして、これからが未知との遭遇ですが会員の皆さんのご協力を頂き、ガバナーをしながらガバナーになって行きたいと思ひます。

さて、本日は会長幹事さん、そして次年度の会長幹事エレクトの方々と懇談をさせていただきました。

今年度から会長・幹事エレクトの方にもご同席して頂きましたのは、次年度に向けての心構え、準備の為でもあります。クラブの長期計画の始まりかと存じます。

これを機に、積み重ねてこられました事業をもう一度見直して頂き、クラブの棚卸をしながら、良いクラブから素晴らしいクラブへ心機一転して頂き、魅力あるクラブとなって頂ければと存じます。

さて、前年度は3月11日に東日本大震災と言う未曾有の国難に見舞われました。

この大震災の落とした影は計り知れないものがあります。

エネルギーのこと、中央と地方のあり方、農業の事、環境の事、人間の生き方のことなど計り知れないほどの示唆を私達に与えました。

「人間は自然の前ではかくも無力である」といったありきたりの言葉では済まされません。「人間は自然の一部でありますから、自然と対峙する生き方ではなく、自然と共生し自然の摂理、理に沿

て生きるべき」ことを教えております。

私たちが行っております社会への奉仕活動もこの震災を受けて「震災復興支援」を第一の優先順位として、「私たちロータリアンに何が出来るのか」を考えてクラブ運営をして頂きたいと願っております。

私達日本人はかつての敗戦を乗り越えて、いや敗戦のおかげで大きな国になりました。

敗戦、震災これらの国難は恐ろしい事ではありますが、私たちはそれよりもっと強い国民であると信じています。

単なる復興ではなく【創生復興、新生復興】未来は以前よりも、もっと良くなるように支援しなければならぬと思っております。

2520地区宮城・岩手の同期の菅原ガバナーから地区ロータリーの被災状況の報告がありました。(別紙)

亡くなった会員行方不明の会員が17名、自宅全壊131戸半壊329戸、事業所197社全壊、390社半壊で83クラブの内26クラブが破壊的被害を被っており、復旧復興には5年~10年は年月を要するとのことでした。

今回、木下ガバナー年度での東日本震災支援のための義援金はロータリーオールジャパンで九億円集まりました。その内の二億円は支援物資に使われ、七億円が基金として残りました。そこで、この基金の使い道として、親を失った1800名の子供たちがせめて大学まで行けるようにと「教育環境支援プロジェクト」が考えられ、試算では約20億円が必要とのことで、今後5年間で基金を創設することが計画されました。

ですから、現在約9万人のロータリアンの内、東日本を除く7万人で7億円を2年目も支援し、この地区でも2500名の会員ひとり一人から1万円を支援して頂き2500万円をお願いしたいと思います。宜しくお願ひ致します。

.....

本日はまずロータリーの現状、次に新年度R I 会長テーマ、最後にガバナーの地区運営方針の3つに分けてお話をさせていただきます。

ロータリーは社交クラブとしての閉鎖性と「世界でよい事をしよう」と世界に眼を見開いた開放性を併せ持つ組織であります。

1927年ベルギー、オステンドでの世界大会でポールハリスは「ロータリーの奉仕理念は哲学ですから万古普遍のものであり、みだりに変えるべ



きではありません。と言うよりも絶対に変えてはなりません。しかし奉仕活動の実践は社会のニーズにしたがって大胆に変化させなければ、誰からも頼りにされなければならず、相手にされません。」と語ったそうです。

「変える勇氣と変えない勇氣を持って」と私たちに伝えていきます。

ですから、私たちロータリアンは常に物事を本質と現象に分けて分析しなければなりません。万古普遍のものが本質で、移り行くものは現象です。ですから、私たちは「ロータリーの本質とは何か」を常に問い続けなければなりません。

木下直前ガバナーは「ロータリーの本質とは、人間形成である。その為には謙虚さと思ひやりが必要であり、決して優越感をもってはならない。それを学ぶ所が例会である。」と述べられています。

ロータリーも創立以来106年がたちました。

この間2度の世界大戦、世界恐慌、ポリオの世界的流行、自然の大災害など幾多の事件が発生し、その都度、社会の新しいニーズが発生し、ロータリーはそのニーズに応じて新しいプログラムを立ち上げて今日があります。

しかし、国際ロータリーも変革を求められています。それはアメリカ・日本という経済大国の会員数の減少の為です。

ここで、ロータリーの会員数の現状をお話し致したいと思います。

世界のロータリアン数は2002年をピークに増加する事をやめました。124万3千人から現在はピーク時の1.2%減（122万8千人）であります。

内訳はロータリー先進国米国、日本の会員数の減少です。

米国は1994年をピークに現在14.5%減、日本は1997年（13万1731人）をピークに現在（8万9700人）で（-4万2031人）の32%減であり、我が2720地区は1993年（3,445人）をピークに（982人）39.87%減であります。

会員数の増減

	全世界	日本	RID2720	U.S.A.
会員数のピーク	2002年 1,243,431	1997年 131,731	1993年 3,445	2002年 421,823
2010年現在	1,228,303	89,700	2011年4月 2,463	360,632
ピーク時との差	-15,128	-42,031	-982	-61,191
ピーク時の%減	-1.20%	-32.00%	-39.87%	-14.50%

つまり奉仕活動における支援国の会員数が激減

し、被支援国の会員数が増加しているのです。これでは自ずからロータリーへの期待の質は変質します。

R Iは2000年を契機に次々と改革案を提示してきております。2002年のD L P、2004年C L PのR I理事会承認、2010年から2012年までの新長期計画、2013年からの財団の未来の夢計画であります。

改革の骨子は国際ロータリー組織構造、目的の簡素化と活動の継続、広報のまさに3 Kであり、活動のBetter、Bigger、Bolderの3 B（大きく、より良く、そして大胆に）であります。

そして、ロータリーブランドの構築のために職業奉仕と、中核となる価値観として、親睦、奉仕の車の両輪に加えて多様性、高潔性、リーダーシップをおいたのです。

本日は詳細に触れる時間の余裕はありませんが、地区としてこの一年皆さんに充分ご理解いただけるようセミナー等を実施して行きますのでどうか参加して学んで頂きたいと思ひます。

さて次年度R I会長はインド出身のカルヤン・バネルジー氏で、現在68歳の若きリーダーであります。

インドからは1962年度のニッティシ・ラハリー氏、1991年のラジェンドラ・サブー氏について3番目のR I会長となります。

カルヤン・バネルジー会長のR Iテーマおよびテーマロゴをお示しいたします。



カルヤン・バネルジー氏の会長テーマは「この中を見つめよう 博愛を広げるために」(Reach Within to Embrace Humanity) であります。

“心”ではなく“こころ”と表現されていることと“Embrace”を“広げる”と翻訳されているところに哲学的なものを感じます。

“こころ”は“心”よりもっと広いものを包含しているように思ひますし“抱きしめる”(Embrace)ことはすなわち“博愛”に等しく思われるからです。

私は、国際協議会でロゴを発表されました時に、インドからのR I会長ですから、このロゴはター

バンドと思いました。どうも違っていたようです。このテーマロゴは心臓を形どったものです。かつてギリシャの哲学者プラトンは心の所在を脳に求めました。その弟子アリストテレスは心の所在を心臓に求めたのです。

これは心の所在を心臓に求めた構図です。

心の中を見つめたら何が見えますか。心の中には人間の本質が宿り、見えてくることになります。この人間の本質こそロータリーの本質に通じるものです。

四無量心

慈：人をいつくしむ広いこころ

悲：人の悲しみを我の悲しみに

喜：我一人の喜びにあらず、

全ての人の喜びが我の喜び

捨：人に尽くしても見返りを求めない心

インドの詩人で思想家のタゴールは「全ての赤ん坊は、神がまだ人間に失望していないというメッセージを携えてくる」と謳いました。

つまり心の中には神、仏に通じるものが宿っていると云うわけです。

その心を見つめ取り出して、眼に見える形にすることをカルヤン・パネルジー会長は訴えているのです。

そして強調事項として3つ挙げられました。家族、継続、変化であります。人間生活の原点を家族に置いたのです。

東洋の儒教思想にも通じる修身、齐家、治国、平天下の考えであります。

加えて2つの目標分野を挙げられました。

一つは若者を中心とした会員増強であり、いまひとつは広報であります。

これを受けたガバナーは地区運営方針を示さなければなりません。

私の務めはR Iの新長期計画、財団の夢計画の充分なご理解と、クラブ強化のためのサポート・CLPの導入・新世代育成とロータリー家族の充実、公共イメージと認知度の向上・クラブの柔軟性と会員の多様性を増進することです。

そこで、皆さんには、クラブ奉仕委員会、社会奉仕委員会等各委員会のたな卸しをしていただき、欠点をだし、長所をのばして長期計画のもとクラブの活性化を図って欲しいというのが私の願いであります。

地区の新プログラムとしましては、ブライダル推進プロジェクト、リーダーシッププログラム(R L I)・会員増強支援ネットワーク、卓話者ネットワーク、新世代支援ネットワークを計画しております。

今後は長期的ビジョンを描き目標を定め、継続的に一貫性を保つため、数の問題でなく質の強化、組織の強化を図り、リーダーシップを持った人材の育成を行うことによって、会員の維持増強にも進んで頂きたいと考えています。

.....

私たちは「ロータリアンになることは容易いのですが、ロータリアンであること、あり続けることはとても難しい」のです。

その為には、「穴は深く掘れ、直径は自ずから広がる」の先人の教えの通り、深掘りする人生を選んで進むことです。

また、故郷の歌「ころごしを果たしていつの日にか帰らん」とは、自分が人生の旅路を終えてどこに帰るのかと考えた時、それは父母のいるところ、魂の故郷だと謳っています。

そして「ころごし」というのは立身出世のことではなく、この世にいて自分の生を輝かせることであり、愛を持って生きるということです。人間というものは永遠の世界に向かって旅を続けている存在です。人間は誰も大宇宙に生かされた存在で、みんなが深いところで命という絆で結ばれています。ですから、生きているうちに身につけた地位や財産は儂く消え去り、この世の生を全うした後は魂の故郷に帰っていくということです。

物を計るのは物差し、心を計るのは【志】と言います。

人は現在よりも、未来の夢に生きる。夢あれば人生あり、夢あれば青春ある。

夢あるところに細胞が活性化し、志あるが故に進歩発展の歴史を創造することが出来ると信じています。

良きロータリアンとなるには、昨日より今日のほうが多くの努力を伴います。

そして、今日より明日のほうがもっと多くの努力を求められるでしょう。

ロータリーの未来はエバンストンにあるR I本部で形づくられるのではなく、個々のロータリー・クラブによって形成されるのです。

強いロータリーを守り抜くために行うことが、ロータリアンとして、私たち一人ひとりのために



なります。

みんなのためにロータリーの針路を決めるのは、私たち自身の日頃の行動であり決定です。

ロータリアンになることはできるが、ロータリアンであることは難しい所以です。

「目に見えぬ神に向ひて恥ざるは 人の心のまことなりけり」

心の中を見つめて、私たちも心機一転です。

ご静聴有難うございました。

人が生きていくためには、自然に対する「畏敬の念」と「自分を律する心」が必要だと言われて

います。それは、人間の本質であり、「謙虚さ」であり、「思いやりの心をもって、優越感をなくすこと」です。日本人の見えざるものに対する精神的構造は、

.....

【新世代の育成】

ロータリーの未来を考えるなら後続する人を育てなければならない。「次世代を担う若者を育てることによりロータリーの礎（いしずえ）の再構築を図りたい。強力なクラブづくりのもと社会に奉仕することで世界の恒久平和が実現できる」

「矛盾することを同時に成し遂げなければ、大きな成功はありません」。

矛盾する両極を、中途半端でなく、とことん追求していく先に、まったく新しい世界が開けて来ます。

また、過去と相手を変えることはできませんが、未来と自分を変えることが出来るはず。今の日本は少子化の時代です。外国人労働者を入れない限り、人口は増えませんが、交流する人々を増やすこと、多様化することで交流人口を増やすことができるのです。それがロータリーの増強だと思っています。



会員コラム

堀 由美

『2011年3月4日…50歳』

最近私は、いろいろな本を読んでいます。そんな本の中から特に心に残っている5つの言葉を紹介します。

1. 幸せは伝染する。

いつも嬉しいこと、楽しいことを考えていると容顔は穏やかになり、これは伝染していく。心がなごやかなら、醜い容顔など絶対にならないらしい。

私は基本的に人づき合いが苦手なのだが、「いつも楽しそうなあなたのそばにいと、元気がうつるから」と、いろんな人が寄ってくる。元気な顔をしていると、意図しなくても、いつのまにか周りに人が集まってくるようだ。そして、楽しい笑顔が広がっていくことは、地上を楽園に変えるくらいの効果があるのかもしれないと思う。

これからも無理にでもそうしたいものです。

2. いい人にならずにシンプルに生きる。

「人が自分をどう思っているか」と、多少は気になることだと思うが、周りの人みんなによく思われたいと色気を出すから、言いたいことも言えずに自分をおさえてストレスになる。だれに迷惑をかけるわけでもないなら、いい人になる必要などさらさらないのでと思う。

3. 人間は気持ちの持ち方で幸福にも不幸にもなる。

そもそも自分の気持ちは自分が決めることなのだから、心の中の悲しいことや辛いことなどの不幸を感じる術をなくしてしまえばいい。

4. 人間はそもそも孤独。

自分だけが孤独なわけではない。だれしも孤独なのだ。

ひとりで生まれてきて、ひとりで死んでいく。それが人間の宿命である。

ただし絆があるのは良いことです。・・・人生は絆で続いていくのだから・・・

親子以外にも、夫婦、兄弟、親戚、友人、仲間等どんな関わりでもよいから、絆は大事にするべきだと思う。

5. 老いも面白い体験。

誰もが初めて体験する自分の老いは避けようがない。

日々の出会いや体験を愉快地に思えば、老いていく自分さえも愛おしく感じられるようになる。私は元気に楽しく老いていきたいと思う。

5つの言葉を肝に銘じて、50歳になっても素敵ないい女である為に、これからも一生懸命頑張ります。

今回は、平野教康会員です。